

愛知県医師会交響楽団 第 41 回定期演奏会 反省会議事録

日時：2024 年 11 月 16 日（土）18 時～19 時 15 分

場所：中生涯学習センター視聴覚室

出席者：28 名

議長：榊原運営委員長

議事

1. 運営委員長挨拶（榊原）

2. 技術委員長総括発言（門野）

- ・ソリストを迎えての定演は数年ぶり、ソリストからの条件、会場・日程の設定などに気を遣ったが、なじみのあるプログラムなので何とか乗り切った印象。
- ・本番とても良かったが、直前まで心配だったのは医師会オケの特徴？ 音楽性の追求などもう少し余裕をもって仕上げたい。
- ・今後の練習について皆さんから意見を聞きたい。

3. 企画委員長総括発言（佐藤）

- ・当日大きな事故もなく、出演者に感染者も出さず無事終わることができた。 前回の定演から間がない中、門野先生のご尽力、皆様のご協力に感謝。
- ・ソリストの沢田先生の前評判で入場者数 1,500 人を見込んでいたが、結果は 1,270 人。 沢田先生のツイッターX の発信後、芸文プレイガイドで急に売れ始め預けた 130 枚は完売し、当日券は 76 枚販売。
- ・当日券の販売について団員の皆様への周知ができていなかったのが反省点。
- ・本番直前に Cb 阪井さんの自宅が火事だという知らせが入り、出演できなかったのが残念。火事はベランダの一部が燃えた程度で怪我人もなく大事には至らなかった。
- ・チャリティ先の日母おぎゃー献金基金から感謝状をいただく。 寄付金は 30 万円。
- ・次回の定演について、来年 11 月分の芸文抽選会は 11 月 21 日、宗像さんの腕に期待
- ・アンケートに住所・氏名記入の方には定演の案内葉書を送付している。

4. お客様アンケート紹介（安藤）

- ・アンケート回答数過去最高 338 枚 ※結果の詳細については別紙に記載
- ・住所・氏名を記入してくださる方が多いのは医師会オケへの信用度が高い。それを今後どう生かしていくか？ オーケストラが随分変わってきた。パートを特定した回答が見受けられた。

5. コンサートマスターの感想（小畑）

- ・コンマス 2 人体制で 1 曲に集中できる。研究会などで出席できない時に助かった。
- ・オケの実力が本番前に急上昇して、本番後に急降下するのは定演の間が空くのが良くないのかもしれない。次回までの間どうするか、ご意見をいただきたい。

6. 特別発言（宇野）

- ・現在県および市の医師会の役員をやっており、新任の山根会長とは親しくしており市の医師会館を今後も使える様お願いしている。 仮の県医師会館には楽器も置いてあるので担当理事の加藤雅通先生にお願いして使える様にできれば良いのだが。
- ・「第九」も頑張りたい。
※合唱指導を井原先生に引き受けていただけたのは宇野先生のお陰です。

7. 意見交換（今回の定演の感想、反省）

※反省を踏まえ今後どのような演奏会をめざすのか、前向きな意見交換をお願いします。

- ・「技術力の維持」という意味で室内楽コンサートを生かして欲しい。今回の反省会でも出席者が少ない。他人事として捉えている人が多いように思う。他のオケに所属している人でも医師会オケでは一人のメンバーとしての働きが求められると思う。その辺りをどのように団員に伝えていくか？
- ・反省会のスケジュールですが、オケに長くいる人は開催時期の予想がつくが、皆さん予定もあるのでもっと早く知らせたい。
→今後は早めに日程を周知する（佐藤）
- ・医師会オケの在り方について検討が必要。「このオケに居て良かった」と思ってもらえているか？そのような雰囲気があるのか？どのようなオケにしていきたいか？
来場者の中にオケの成長を見てくださっている方もいらっしゃる。
- ・医師会オケはメンバーの人の良い。技術力が落ちてでも以前より高いところに着地している。またトレーナーにも恵まれているが、概して受動的。今後どうしていくか議論したい。
- ・練習内容について、1回の練習で2曲にすると、1曲の練習時間が短く中途半端になってしまうので検討してもらいたい。
- ・Vn パートはパート分けを工夫したのに、結果的に音に偏りが出てクレームがついた。
メンバーの希望と技術力、音楽性が一致しない。
- ・定演でソリストに渡すチケットの配分はどのようなだったか？
→22枚渡して9枚販売、残りは招待客でした。（門野、佐藤）
- ・チケット代1,500円は安いのではないかな？
→チケット代を値上げするとノルマが高くなり皆さんがどう思うか？（榊原）
今回はチケットが取れないソリストでお値打ちだった。今後検討したい。（佐藤）
- ・このオケの良いところは、いつも弦の人数が揃っている。そして練習の時間と場所が決まっていて、そして安い。
- ・トランペットは体力が落ちると吹けなくなる。パート平均年齢が50を越えてきた。最近若い女性が入団しパート内の雰囲気が活気づいている。若い人に入団してもらい定着させていきたい。若い男性の団員が少なく女性が多い。今後のリクルート活動において女性に優しく、子連れでも練習に来やすい環境を整える必要がある。

- ・以前は結構練習に子供を連れてきて降り番の人が面倒を見ていた。
- ・名市大オケでは子連れで練習に参加していた。ゲネプロの子連れでの見学を公に許可して欲しい。
- ・子連れを理由に練習を諦めて欲しくない。今後に向けて是非検討して欲しい。
→以前は定演の際ポピンズに託児サービスを依頼し、団員も利用していた。今後再開を検討する。託児に関しては専門家の小山邦さんにアドバイスをいただく（佐藤）
→託児には部屋と保険が必要。個人の専門職に依頼する方法もある。（小山邦）

8. その他

- ・「第九」の準備を進めており、予算の希望を医師会に伝えている。練習場所が問題
県医師会館を使用できるよう運営協議会でお願いする。
- ・総会は2月の予定（榊原）
- ・「第九」は令和9年1月24（日）です。
- ・名古屋市医師会館は本来使用料が1回につき数万円かかるところを無料で使わせてもらっていることを自覚して利用して欲しい。（佐藤）

9. 技術委員長交代報告（門野）

- ・次期技術委員長として橋本さん（Tb）が運営委員会で承認された。
- ・いつも会場が取れてから選曲していたが、技術委員と各パート代表が集まって早めに決めて行けば良いと思います。

10. 次期技術委員長挨拶（橋本）

- ・皆で参加して楽しくなるようなオケにしたい。

次期技術委員長への要望（佐藤）

- ・会場を確保するのが大変なので、次回はピアノ協奏曲は避けていただきたい。

閉会

<室内楽コンサートのお知らせ>

1回目：令和7年3月8日（土）18：45 開演予定

2回目： 3月22日（土） 〃

場所は東文化小劇場ホールです。

文責：佐藤